

つ スポーツ推進 委員会通信

ふれ愛

第23号
令和2年
3月発行

発行責任

津市スポーツ推進委員会
広報部会

www.tsu-sposui.com



津市スポーツ推進委員会のホームページでは最新の活動が見ることができます。
右上の QR コードからアクセスしてください。

全国スポーツ推進委員連合 令和元年度第60回 全国研究協議会

令和元年 11月 14日(木)、15日(金)
津市産業・スポーツセンター サオリーナ



令和元年 11月 14日、15日の両日、三重県津市の「津市産業・スポーツセンター サオリーナ」をメイン会場として、全国のスポーツ推進委員をはじめ生涯スポーツ関係者を一堂に集め第 60 回全国スポーツ推進委員研究協議会が参加者 3,695 名(県内参加数 404 名)で盛大に開催されました。

今回のテーマは、「スポーツ・イン・ライフを目指して～とこわか（常若）な社会の実現に向けて～」です。スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことには多様な力があります。国民一人一人が日常生活の中で自然にス

ポーツに親しむ「スポーツ・イン・ライフ」を実施することにより、身体的、文化的、精神的にいつまでも若々しく元気なとこわか（常若）な社会を実現していくことが期待されています。そこで、地域のコーディネーターとしてスポーツ推進委員が果たすべき役割と今後の方向性について研究協議を行うとの趣旨で開催され、瀬吉利彦氏の講演「心で走る」やシンポジウム、翌日の分科会など充実した研修内容でした。

第1分科会

「スポーツを通じた地域活性化」
～地域の特性を活かした取組による活力ある地域社会の実現を目指して～

第2分科会

「健康寿命の延伸に向けた取組」
～スポーツ・レクリエーションを通じた健康長寿社会の実現を目指して～

第3分科会

「障害の有無に関わらず楽しめるスポーツの振興」
～スポーツを通じた共生社会の実現を目指して～

第4分科会

「子供・若者のスポーツ活動の推進」
～スポーツ機会の充実による運動習慣の確立を目指して～

http://www.zentaishi.com/national_council/tabid/114/Default.aspx
より一部抜粋

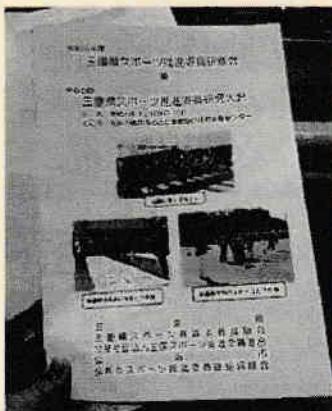
令和元年度三重県スポーツ推進委員研修会

兼第 60 回三重県スポーツ推進委員研究大会

令和元年 12 月 8 日 (日)

松阪市嬉野ふるさと会館及び嬉野体育センター

furu



県内から 259 名参加（津市から 45 名参加）。今年は、津市からの功労表彰はなく、他市から 29 名が表彰されました。歓迎アトラクションは、FITNESS CLUB AMIY による「どこわかダンス」でした。



講演は、松葉健司氏による「実力発揮のコツ」で、松葉氏は三重県の県立高校 2 校（2002 年久居農林高校・2012 年松阪高校）の野球部を創立以来初の甲子園出場へと導いた方です。

感情と意欲は変化するが、知性は変わらない。
変えられないモノ：他人・過去・自然現象・社会現象、

変えられるモノ：自分と未来

目線：目線だけ動かすのではなく鼻と一緒に顔ごと動かすことで集中出来る。（テニスボールを腰の高さから落とす際、目線が同じ高さで集中するとキャッチ出来るの実演）また、集中力を高めることとは、顔だけ向けて向き合う：150 億、身体全体で向き合う：60 兆の細胞が集中することから身体全体で向き合うことが大事。聴く：両耳を音のする方向へ揃えて聴く（真っすぐ顔を向ける）ことで正しい方向を掴む（座頭市が正確な発信源を知る

うと首ごと振って探す行為）近年、SNS やインターネットから生活において情報のインプットばかりになり易い。意志のアウトプットを行う機会が少ないため、精神のバランスが崩れて、推進力に欠けることが多い。中断することなくアウトプット（存分に話させる・聞く）ことで空っぽの状態にしてあげることで新たに吸収し始める。

まず出し切ること、中途半端は気分が悪い。出し切るから入りが可能となる。

ごちゃごちゃ言わずやれ：昔気風であるがとても重要。

同調：チームの同調には、一本締め。同調からチームワークや信頼関係が自然に生まれる。講演は、予定時間を 8 分ほど超えつつも、参加者全員の一本締めで終了。

昼食を挟み、午後の実技講習会は松阪地区スポーツ推進委員会考案の C・C リングです。



ゴムホースを 2m に切った大リング 5 本、50cm に切った小リング 5 本を内径に合うガス管で接続して道具作りからスタート。先攻、後攻をじゃんけんで決めて先攻チームはコートに背を向けて整列。後攻チームは大リング 5 個を並べてその中に -20 点、0 点、10 点、30 点、50 点の各カードを相手に得点されない位置に置き、先攻チームがリングに向かって投げ、得点を競います。お子様から高齢者までが安心して気軽に参加出来るスポーツでした。

同じリングに小リングが 2 個入り歓喜するも、カードを開けると -20 (-20 × 2 = -40) で逆転負けして膝からガックリ、大笑いと各地区の推進委員間の交流を深めました。

第67回東海四県スポーツ推進委員研究大会

令和2年2月14日(金)、15日(土)

静岡県浜松市

ooe



今年の東海四県スポーツ推進委員研究大会第1日目の講演の題名は「幅広い世代にスポーツを普及するためのクラウン流コミュニケーション術」とっていました。講師は日本ホスピタル・クラウン協会理事長の大棟耕介さんでした。

「ホスピタル」はわかるけどクラウン? 王冠? トヨタの高級車? 調べてみると「crown」(王冠)ではなくて「clown」。辞書で見ると「いなかもの」「道化師」とあります。

道化師とスポーツ?

にわかに接点を見出すことはできないまま講演は始まりました。

登場したのはちょっと太め?のクラウン。始まるとき、すごく楽しいパフォーマンスで、一瞬で人の心を掴む魅力を感じました。話も上手で会場全員が引き込まれていきました。

講師の大棟氏は愛知県知多郡の出身で名古屋市在住。フロリダで行われたクラウンの世界大会で銀メダルを取得しているクラウンの世界的第一人者でした。

日本ホスピタル・クラウン協会のホームページにこうあります。

「わたしたちは、欧米では文化として根付きつつあるホスピタル・クラウンの活動を日本に広げていくために(中略)活動しております。講演の途中で講師の活動を紹介する動画を見ました。



クラウン・K(=講師)が病院で白血病の子供の病室を訪問し、子供と一緒に楽しい時間を過ごしている様子を見ました。

側で見ている母親や、担当医が白血病の子供が普段出さないような大きな声を出して喜んでいる姿を見て驚いていました。

自分もクラウンは人の心をここまで元気にするのかと驚いた瞬間でした。動画の中でクラウン・Kがこう言っていました。「自分たちはこの子たちの病気を治そうとか思ったことはない。いかに生き続けて一緒に楽しい時間を過ごすかということだけを考えている。もしかしたら一番癒されているのは自分かもしれない。」

自分が講師と同じことをできるとはとても思えませんが、日々地域でスポーツの普及活動を行なっていくうえでとても重要なヒントがこの話の中にありました。

これからスポーツの普及活動は、参加者と一緒に楽しんだり、喜んだりする中で、「自分が一番楽しませてもらっている!」と思えるようなスポーツ推進委員でありたいです。

ブロックだより

津ブロック・栗真地区 パラスポーツの体験教室

令和2年2月10日(月) kawabata

パラスポーツの「みる・知る・支える」の観点からパラスポーツの「ボッチャ」の体験教室を開講。小学生の高学年12名が参加。10名の児童が初めての体験



結果、赤組

12点対白組

9点の僅差でした。

初めは緊張していましたが、ゲームが進むにつれ、チームの得点に



歓声が上がっていました。又、パラスポーツを実感するために障がいの方を想定して、椅子に座っての投球も体験しました。体験終了後の児童達の感想は、男女ともとても楽しかったと笑顔いっぱいでした。担当の先生には今後ともニュースポーツ&パラスポーツを地域スポーツの一つとして推進していただくようにお願いしました。

でした。コートの大きさ、用具、競技ルールの説明を終え、競技開始です。3ゲームまでは順番に投げている感じでゲームが進みましたが、4ゲーム目からは、得点狙いの投球に歓声が上がり、逆転につぐ逆転に一喜一憂。

一志ブロック研修会

ワンバウンドふらばーるバレーボール

令和元年12月15日(日) ookouchi



12月15日(日) 一志東小学校 体育館にて津市スポ推 一志ブロックの研修会・交流会を行いました。

13時30分に集合・準備し、14時から「ワンバウンドふらばーるバレーボール」を、コートに入ってルール説明を行い実践による研修を開始。

まずボールに驚き(言葉では表しづらい変形した卵型・おむすび型?のけっこう大きなボール)、バレーボールと名がついていても、サーブレシーブ以外で相手からきた



ボールはワンバウンドさせてからレシーブしなければならずついついノーバウンドでとりに行ってしまい、チームから「ワンバウンド~」と声がかかってもすでに遅し!逃げられず!

変形したやわらかく大きいボールのため、ワンバウンド後の跳ね方やレシーブした後のボールの行方も予測がつかず、コート内の皆がドタバタとする姿もなかなか楽しいものでした。動きすぎ?と声の出しすぎ!のせいできっこう疲れました。

ボールがやわらかいこと、バレーの上手下手は関係ないこと、ボールさえあれば気軽にできることから、だれでも楽しめそうです。

ブロックだより

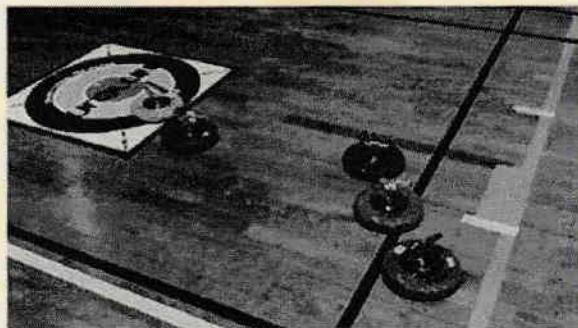
安芸ブロック・河芸地区
かわげインディアカ＆カローリング大会
令和2年2月2日(日) furu



インディアカ大会とカローリング大会を河芸体育館で同日開催しましたので、その様子をお伝えします。

大会当日は、インディアカ大会に、全8チーム（42名）が参加。最も遠くは松阪からの2チーム含め、他津市内各地区から愛好会が参加いただき、2コートに分かれて総当たり戦。コート順位を決めて同順位同士で順位決定戦を行い、最終試合で優勝決定戦を実施。総合結果は、松阪からの「バードAチーム」が優勝、「バードBチーム」が準優勝でした。かわげスポーツクラブから参加した数合わせの急造チームは全戦全

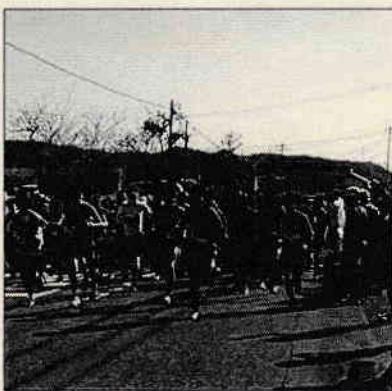
敗でした。急造チームとはいって、その中に河芸のスポーツ推進委員が複数名含まれていた様子。もっとしっかりしましょう♪ 「わざわざ参加いただいた来客に花を持たせた」なんて…、ちょっと違うような気がしますね（笑）



また、同時開催のカローリングは12チーム（51名）、4コースで実施。こちらは、地元（河芸町）からの参加者が大半を占め、かわげスポーツクラブの会員がほとんどでした。先日（1/26）行われた津市民スポーツフェスティバルが久居体育館だったので、そこに参加されなかつた方たちも参加いただきました。地元開催であればご年配の方たちも参加しやすいようです。

久居ブロック
令和元年度 第22回久居榎原マラソン大会
令和元年11月17日(日) kitabayashi

当日、地元をはじめ全国から集まったランナーが秋の、自然が美しい榎原温泉郷を走るマラソンです。今年も前葉市長に参加いただきました。



今年は約1,900名の参加となり、昨年同様「美し国三重市町対抗駅伝」津市代表ランナーの有志に大会を盛り上げていただきました。本大会は津市ス

ポーツ推進委員久居ブロックの協力事業として全員参加で、事前の開催案内看板の設置、コースの旗立て、コース巡回、整備等に従事しました。大会当日は、他地区スポーツ推進委員の協力もいただきました。コースは津市立榎原小学校を発着点とするコースで、榎原温泉周辺を走る、ハーフマラソン、1.5km、3km、5km、10km、タイムを競わない2kmファミリーコースで行われました。会場内は、地域物産販売と、大好評の自衛隊豚汁が振舞われました。ゴール前、大勢の声援を受け、ランナーは笑顔でゴール、良いマラソン大会でした。

2019年度

津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル

令和2年1月26日(日)

津市久居体育館 furu

生涯スポーツを楽しめる機会を提供し、市民の健康増進と相互の交流・親睦を図り、健康な市民生活の向上に寄与する事を目的として、津市久居体育館にてカローリング大会を開催しました。

募集当初、各地区体育振興会会长宛てで参加者の取りまとめのお願いをして様子を見ましたが、参加チームが少なく役員会、理事会を経て再度参加の募集を強化しました。スポーツ推進員の友人・家族などが集まり、予定数を超える40チームが参加いただきました。当初、8コート(4チーム)想定だったのを、8コート(5チーム)総当たりで行いました。参加者の中には全国大会にまで出かける程の猛者もおられレベルの違いが明らかでした。カローリングの戦略を初めて目の当たりにし奥深いスポーツであることを痛感しました。また体育館の一角では、パラリンピック正式種目のボッチャ体験コーナーを設置して参加者の待ち時間に楽しんでいただきました。

開催にあたり、参加者を早い段階で集める課題を残しました。

2019年度津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル

自指せ頂点
カローリング大会

同時に
ボッチャ体験
パラリンピックの正式種目。
モビリティ、障がいのあるなしに
関係なくすべての人びと一緒に
樂べるスポーツです。

とき 2020年1月26日(日)

ところ 津市久居体育館
三重県津市久居野町877-1

お問い合わせ先
津市スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会事務局
〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階
電話: 059-229-3254 FAX: 059-229-3247

☆☆☆編集後記☆☆☆

今回、「ふれ愛23号」です。令和元年11月14日(木)~15日(金)第60回全国スポーツ推進委員研究協議会三重大会が津市産業・スポーツセンター サオリーナほかで開催されたことが大きなイベントでした。三重県全体で事前準備を入念に行なった結果、良い大会運営のお手伝いができたように思います。ご支援いただいたメンバーの方々、ありがとうございました。

また、第67回東海四県スポーツ推進委員研究大会が静岡県浜松市で開催されましたが、今回の津市スポーツ推進委員の参加者は35名でした。年々減少しているように感じます。来年は三重県開催なので積極的に参加して他市町の良い事例を持ち帰って地元の活性化に寄与したいものです。令和2年度は、推進委員の任期満了により、メンバー交代の地区もあろうかと存じます。来年は、どこわか国体・どこわか大会です。スポーツ推進委員が一丸となって協力していきましょう。

Furu

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階 TEL:059-229-3254 FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★
<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
<http://www.zentaishi.com/>